

館岩川河川災害関連事業について

平成27年9月9日から11日にかけて台風18号から変わった低気圧に流れ込む南よりの風、後には台風第17号の周辺から南東風が主体となり、湿った空気が流れ込み続けた影響で、多数の線状降水帯が次々と発生し、関東地方と東北地方では記録的な大雨となりました。

館岩川流域内に位置する館岩観測所では、降りはじめからの総雨量325mm、最大時間雨量16mm（9月10日0:00～1:00）を記録しました。この雨により、館岩川周辺では堤防決壊による浸水等、甚大な被害が発生しました。

このため、平成28年3月に館岩川河川災害関連事業の認可を受け、川幅を最大で約15m拡幅し、河川の流下能力を向上させることで河川の氾濫を防ぎ、地域の方々が安全で安心できる川づくりを目指して復旧と改修を行っています。

事業は延長1,673mで平成27年度から工事に着手し、現在は河道拡幅工、護岸工などを施工中です。進捗率は平成30年3月時点で約70%となっており、引き続き、全力で早期復旧に向け取り組んでいきます。

工事実施前



工事実施後

